

施設名称		〔35〕 東京都台東区立千束児童館				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H22. 4. 1 ～ H27. 3. 31	
1. 指定管理者の概要						
(1) 業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2) 類似施設の管理実績	児童館7館、13こどもクラブ（平成22年10月から14こどもクラブ）					
(3) 経営状況	（22年度決算ベース）〔社会福祉事業会計〕 収入2,679,789,578円、支出2,542,831,771円、収支差額136,957,807円					
2. 施設の概要						
(1) 所在地	台東区千束3-20-6					
(2) 設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3) 利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4) 開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9：30～午後6：00、日曜日（第三日曜日を除く）：午前9：30～午後6：00一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日（5月5日は開放）					
(5) 規模	RC4階建て 3・4階 図書室・遊戯室・図工室・音楽室・こどもクラブ室等 千束保育園併設					
(6) 人員体制	常勤職員3名、短時間職員4名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1) 委託事業	①児童の福祉を目的とする事業②児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業③健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと③その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2) 自主事業	自主事業は行なっていない。					
4. 予算決算の推移						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算	委託料	32,531,000	37,072,000	32,081,000	31,176,000	33,041,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	32,531,000	37,072,000	32,081,000	31,176,000	33,041,000
決算	委託料	28,563,784	29,438,743	32,302,401	31,849,502	34,318,317
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	28,563,784	29,438,743	32,302,401	31,849,502	34,318,317
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	19年度	20年度	21年度	22年度
開館日数		日	335	334	333	334
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (24年度)	20年度	21年度	22年度
利用者数		人	34,000	33,955	33,318	34,858

7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取組み

- ・屋上の使用や図書室の整備、集団遊びの展開を行い、異年齢・大人数での遊びを多く企画したことで利用者数が増加した。
- ・平成23年度の耐震大規模改修工事の機会に、各室のレイアウト変更を行い、遊戯室の増床を図り、利用者の利便性を向上させる。(平成24年2月末工事完了予定)

8. 評価項目 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.1]	(a) 施設の目的達成 [3]	(f) 開館時間等の遵守 [2]	(g) 自主事業の成果 [-]	(h) 個人情報保護 [2]
	(b) サービス水準 [2]	(i) 緊急時対応マニュアル [2]	(j) 警備・防犯体制 [2]	
	(c) 職員配置 [2]			
	(d) 職員研修 [2]			
	(e) 案内・接遇 [2]			
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検 [2]	(e) 危険箇所等の確認 [2]	(f) 管理記録の作成・保存 [2]	(g) 業務委託の事前承認 [2]
	(b) 備品の管理 [2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]		
	(c) 清掃・衛生管理 [2]			
	(d) 施設の修繕 [2]			
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価 [2]	(d) 利用しやすい環境整備 [2]	(e) 関係団体・地域との関わり [2]	
	(b) 苦情・要望への対応と報告 [2]			
	(c) 利用者数の目標達成 [2]			
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行 [2]	(c) 収支計画の達成 [2]	(d) 利用料等の徴収・管理 [-]	
	(b) 経費削減のための取組み [2]			

9. 評価
 S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	屋上利用や遊戯室での集団遊びを積極的に展開すると共に、幼児タイムのクラスを増設するなど、事業強化を図ったところ小学校高学年や幼児親子の利用が増加した。また、個人情報保護や危機管理は、組織として研修・指導を徹底している。
(2) 施設の維持管理	A	老朽化している部分の修繕を自主的に実施し、業務水準に基づき、適正な管理が行なわれている。
(3) 利用者の満足度	A	各室の環境整備（図書室に畳スペースの設置、図工室の作業スペースの改良、屋上にバスケットゴール）を行い、各年齢層に配慮したプログラムを提供している。
(4) 歳入歳出	A	職員の異動による人件費増や施設の小破修繕の実施により決算額が増加したが、事務の効率化により、時間外勤務の削減を図るなど日常の経費削減の取り組みに努力している。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	子どもの自主企画や中学生の職場体験を利用した赤ちゃんとの触れ合い活動を実施するなど、異年齢の交流に努めると共に、それぞれの年齢層が利用しやすい取り組みを展開している。
-----------	---

11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応

23年度は大規模改修のため、年度途中で仮移転するが、改修後には、各室の目的に添い、それぞれの年齢の児童の居場所となる活動を通して、千東地域の児童のさらなる健全育成に取り組む。